

安芸地域アクションプランの進捗状況等について

H 2 5 . 8 . 2 6

安芸地域本部

1 地域アクションプランの上半期の実施状況（総括）

(1) 総評

農業分野のナスに関しては、生産者との勉強会などを中心に系統出荷率の向上や土佐鷹販売量の増加等の取組みを行い、ユズに関しても、栽培農家に対して新植・改植を推進する勉強会や講習会を開催するほか、果汁等の安定供給と販路の開拓などに向けた協議等を行っている。

水産分野では、3月末に完成したシラス加工施設の本格稼働が始まったが、ここ数ヶ月間の安芸地域での水揚量が低調なこともあり、他産地からの買い付けなど原魚確保が課題になってきた。

林業分野のうち、特用林産物の土佐備長炭については、製造・販売の拡大に向けて、製炭窯の増設や後継者の育成などに動きだしている。

商工業分野では、東洋町の海の駅の整備は、7月に建築工事に着手するとともに、海の駅運営協議会を立ち上げ、地域の活性化に向けた拠点ビジネスとしての運営の検討が始まった。

観光部門では、平成27年度に安芸地域9市町村で開催する地域博覧会については、県や市町村、観光協会など関係団体をメンバーとする組織での基本計画づくりや同博覧会の推進組織の設立準備に動きだしている。また、室戸ジオパーク拠点施設は、平成26年度内の整備に向けて基本設計等が行われている。

(2) 具体的な動き

① 地域の重点的な動き

重点的な取組	取組状況（結果、成果を含む）・課題と今後の対応
<p>二つの日本一を有する産地機能の維持・強化</p> <p>■No.1 ナス産地におけるまとまりづくりとブランド化の推進（室戸市、安芸市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町、北川村、芸西村）</p> <p>《事業主体》</p> <p>・JA土佐あき</p>	<p>[目標 (H27)]</p> <p>安芸市の系統出荷率：60%</p> <p>土佐鷹作付面積：80ha</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>安芸市の系統出荷率：58%</p> <p>土佐鷹作付面積：40ha</p> <p>[取組状況]</p> <p>○系統率の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域園芸戦略推進会議まとまりづくりチーム会の開催（3回） ・各地区反省会、現地検討会の開催（5ヶ所、延べ50人へ情報提供） ・安芸出荷場での営農相談の実施（3回、延べ203人へ情報提供） <p>○土佐鷹の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐鷹普及推進協議会の開催（2回）とJA・園芸連・県で農家を個別に巡回（5月）（栽培面積は、前年度並みの26.8ha） ・園芸研究幹事会等の開催（2回） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐鷹の更なる推進（特に安芸集出荷場管内のまとまりの形成） <p>⇒地域園芸戦略会議等を通じた系統率の向上</p>

重点的な取組	取組状況（結果、成果を含む）・課題と今後の対応
<p>■No. 2 ユズを中心とした中山間振興 (室戸市、安芸市、安田町、北川村、馬路村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JA 土佐あき ・JA馬路村 	<p>[目標 (H27)]</p> <p>青果出荷受入量： 400t 加工仕向け量： 4,670t A 品果皮受入量： 安芸 600t、北川 150t 加工品販売 ユズ茶： 160 百万円 化粧品： 52 百万円 ポン酢他ユズ加工品： 2,070 百万円</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>青果出荷受入量： 400t 加工仕向け量： 4,500t 加工用果皮 (A・B 品)： 安芸 840t、北川 60t 加工品販売 ユズ茶： 160 百万円 化粧品： 52 百万円 ポン酢他ユズ加工品： 2,070 百万円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新植改植の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・講習会 (適期防除、5 回)、勉強会 (適期防除・カラーリング出荷拡大、7 回、延べ 132 人参加) の実施 ○将来にわたってユズ園を維持管理する仕組みづくり <ul style="list-style-type: none"> ・連絡会等での課題抽出と共有化、活動計画の検討 (北川村 6 回、馬路村 1 回) ・検討会立上げに向けた調整 (地域座談会の開催、準備会の設置) ○ユズ果汁等の安定供給と積極的な販路開拓 <ul style="list-style-type: none"> ・県版 HACCP 取得に向けた指導 (JA 土佐あき、JA 馬路村) ・加工用果皮出荷拡大・品質ワンランクアップ勉強会等開催 (12 回) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユズ果汁の販売強化、ユズ商品の販売拡大 ⇒取り組みの着実な継続
<p>木質バイオマス活用の促進</p> <p>■No. 8 木質バイオマス活用の促進(安芸市、芸西村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JA土佐あき ・(有)安岡重機 ・高知バイオマスファーム ・高知東部森林組合 	<p>[目標 (H27)]</p> <p>ペレット生産： 1,500t/年 ボイラー設置： 100 基</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>ペレット生産： 700t/年 ボイラー設置： 102 基</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペレット製造ラインの再整備後の稼働状況の検証 4～7 月の生産量： 183t ・ペレット製造ラインの補修用部品の確保 ・ペレットボイラー導入に係る補助事業の事業計画書の作成 園芸用ボイラー 31 台 (安芸 8、芸西 11+12 (H24 繰越)) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域需要に対応するペレット製造量ラインの拡充 ⇒設備の補修や増強等による生産の能力の向上など

重点的な取組	取組状況（結果、成果を含む）・課題と今後の対応
<p>水産物のブランド化への取組</p> <p>■No. 10 キンメダイのブランド化に向けた取組（室戸市、東洋町、奈半利町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芸東水産業改良普及協議会 	<p>[目標（H27）]</p> <p>魚価単価： 1,200 円/kg</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>室戸市場のキンメダイ取扱量： 2.3%、1,000 万円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁協関係者等に対する試食会の実施（3回） ・キンメダイのフィレの流通の検討（冷凍からチルド状態へ） ・大手量販店との商談会の開催（冷凍加工品の評価を得た） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H24 の開発商品の改良 ⇒取引先や大手量販店などからのアドバイスに対応 ・冷凍加工品の開発と地元消費の拡大 ⇒地元調理師会と連携したPR活動等の継続
<p>■No. 11 水産加工の促進と販路の拡大（室戸市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(有)タカシン水産 ・高知県漁協 	<p>[目標（H27）]</p> <p>加工品販売額： 12,000 万円</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>加工品販売額： 8,600 万円</p> <p>取引件数の継続： 県外 10 件、県内 12 件</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工事業者のFBCフード・ビジネス・クリエイターの受講 ・新商品「おとめまぐろ」を大手回転ずしと取引契約（17t） ・工業技術センターによる工場の衛生管理状況の確認と衛生講習の実施 ・水揚量が少ない低価格魚（エチオピア）を地元事業者が加工し販売する準備に着手 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大口で安定的な取引先の確保 ⇒既存商品の改善、新商品の開発への取組と営業活動の継続
<p>■No. 12 加工体制の強化等によるシラスの魚価等の向上（安芸市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間企業 ・安芸漁協 ・安芸おじゃ娘 	<p>[目標（H27）]</p> <p>水揚げ額： 201,000 千円</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>水揚げ額： 96,000 千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シラス水揚げ状況の聞き取り（須崎市の漁協） ・事業者（安芸水産）から状況等の聞き取り（5/13、6/24） ・4～6月の原魚購入（約21t、950万円） ・高知県地域産品商談会参加（安芸水産）（5/28） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工原魚の確保に向けた取組 ⇒他県の情報収集と原魚購入の検討 ・商品力、販売力の強化と新たな販路確立 ⇒商談会、見本市等への参加とPR活動の継続

重点的な取組	取組状況（結果、成果を含む）・課題と今後の対応
<p>地域の1次産品等を活用した商品づくりと販路拡大</p> <p>■No.3 ポンカンを活用した新商品の開発と販路の拡大（東洋町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・甲浦の果樹仲間 	<p>[目標（H27）]</p> <p>商品アイテム数： 4品 濃縮ジュース販売量： 5,000本</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>商品アイテム数： 3品 濃縮ジュース販売量： 3,000本</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販売戦略の策定（6月） ・大阪方面の業務用酒販業者への営業活動（6/17、4社） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販売戦略に基づいた販路開拓 ⇒ターゲットに対する営業活動の促進 ・新商品の開発と生産体制の構築 ⇒海の駅運営と連携した新商品の検討
<p>■No.4 「安田（あんた）の白い夢」の販路の拡大と新商品の開発（安田町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安田町 ・生産者 	<p>[目標（H27）]</p> <p>売上高： 100百万円</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>売上高： 25百万円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知龍馬空港でのキャンペーンの展開（4/1、4/21） ・県外百貨店での高知フェアに出展（銀座三越4月、大阪高島屋5月） ・まるごと高知の報告会・商談会へ参加（6/13） ・オープン1周年記念イベント（6/22） ・製造量 4月(11,600個)、5月(4,100個)、6月（4,200個） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・導入した製造機械での本格生産に向けた大口の販路開拓 ⇒地産外商公社等と連携した首都圏での商談の実施 ・原材料の安定確保に向けた仕組みづくり ⇒安芸地域全体を視野に入れた原材料の選定と調達方法の検討
<p>■No.5 エディブルフラワーを活用した新商品の開発と販路の拡大（芸西村）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2 香南くろしお園 	<p>[目標（H27）]</p> <p>—</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>—</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「お花ソルト」のH24年度末時点の販売店舗数（20店舗） ・新たに京都の農業法人と取引開始（6月～） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「お花ソルト」「お花オイル」の知名度アップと販路拡大 ⇒現在の製造・販売体制の継続

重点的な取組	取組状況（結果、成果を含む）・課題と今後の対応
<p>■No. 6 白下糖の生産の拡大と新商品の開発（芸西村）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芸西村 ・芸西村製糖組合 ・生産者グループ 	<p>[目標（H27）]</p> <p>サトウキビ収穫量： 40t</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>サトウキビ収穫量： 38t</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産拡大のため検討会を実施（製糖組合、芸西村、県） ・生産拡大のためサトウキビ栽培地の現況確認（5月） 生産者：18戸、作付面積：7反 ・脱葉機の導入決定 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産者の増加対策 ⇒生産者等への働きかけ ・新商品の開発に向けた検討 ⇒かつば市との連携による新たな加工品の検討
<p>■No. 14 酒粕等を活用した新商品の開発と販路の拡大（田野町、安田町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四国部品(株)中芸工場 	<p>[目標（H27）]</p> <p>販売額： 42,000 千円</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>—</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県外での物産展への出展（4/24～6/25、5回） ・県内での物産展等への出展（4/27） ・県内商談会、支援制度の紹介 ・急速冷凍機、食器消毒保管庫の導入（5月） ・新商品の試作品づくり ・商品展示・PR（5月～6月、産振シンポジウム） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・採算ベースを確保するための売上増加やコスト低減対策 ⇒県内量販店等の取引先の確保に向けた営業活動 ・酒の実ヴィネグレットソースの製造事業者廃業（H24. 12. 28） ⇒中芸地区商工会と連携して、事業継承者の確保
<p>■No. 24 海の駅を拠点とした地域振興（東洋町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東洋町 	<p>[目標（H27）]</p> <p>海の駅来場者数： 180,000 人</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>新施設の早期竣工</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築工事の着手、（7/3、工期：～12/27） ・海の駅運営協議会の設置（8/28） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・円滑な施設運営と施設で提供する飲食メニューや加工品作り ⇒運営協議会を立上げ、検討・協議に着手

重点的な取組	取組状況（結果、成果を含む）・課題と今後の対応
<p>広域的に連携した観光の推進</p> <p>■No. 19 安芸地域における広域観光の振興（安芸地域全域）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安芸広域市町村圏事務組合 ・市町村 ・観光協会等 ・地域団体 ・民間事業者 	<p>[目標（H27）]</p> <p>圏内主要施設訪問者数： 140,000 人 県内宿泊者数： 150,000 人</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>圏内主要施設訪問者数： 125,000 人 県内宿泊者数： 140,000 人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 東部地域博基本計画策定委員会での協議（4/24、6/7、7/23、8/20） ・ 県広域観光推進事業補助申請（6/7、交付決定） ・ 東部地域博基本計画策定委託を観光拠点等整備事業費補助金申請（6/10、交付決定） ・ 県観光人材研修の実施（6/13、6/14、6/28） ・ 県の観光アドバイザーによる研修会の実施（5/27～29） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 戦略的な旅行商品の造成、体験メニューの充実 ⇒安芸広域全体での体験メニューの更なる掘り起こしと磨き上げ ・ 地域博覧会の開催に向けた準備等 ⇒推進体制の構築と具体的な内容の検討
<p>■No. 20 世界ジオパーク認証を活かした観光の振興（室戸市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 室戸市 ・ 室戸ジオパーク推進協議会 ・ 室戸市観光協会 	<p>[目標（H27）]</p> <p>ジオパークガイド登録者数： 40 人 来訪者数： 70,000 人</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>ジオパークガイド登録者数： 50 人 来訪者数： 70,000 人</p> <p>[取組状況]</p> <p>(情報発信・国際交流)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ こどもサマースクールの募集開始（6/15～7/17） ・ リョーマの休日エリアキャンペーンの登録協議（7/31） <p>(拠点施設整備)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基本設計委託を県観光拠点等整備事業補助金交付決定（6/24） ・ 基本設計委託契約（工期 ～10/31） <p>(サイト整備)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地元協議（1回） ・ 「海の駅とろむの日（10月6日）」記念イベントに向け協議（8/13） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ガイド育成とジオツアーの造成 ⇒ガイド養成講座の周知とツアー関係者との連携 ・ 拠点施設整備 ⇒多くの参加者を集めるための市民への周知と意見収集

重点的な取組	取組状況（結果、成果を含む）・課題と今後の対応
<p>■No. 22 岩崎弥太郎と地域食材を活用した観光の振興（安芸市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安芸市 ・生産団体・グループ ・民間事業者・加工業者 ・安芸市観光協会 ・「はばたけ弥太郎」安芸市推進委員会 ・安芸「釜あげちりめん井」楽会 ・安芸市観光ボランティアガイドの会 ・JA土佐あき婦人部 ・入河内大根のこそう会 	<p>[目標（H27）]</p> <p>—</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>—</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安芸釜あげちりめん井を出展しPR活動を実施 （3/31～5/6 内原野つつじまつり、4/7 食1グランプリ、5/18・19 グルメフェスタまんのう） ・PRキャラバンへ参加（6月 福岡・広島） ・安芸釜あげちりめん井楽会総会の開催（6/6） ・「はばたけ弥太郎」安芸市推進委員会総会の開催（5/28） ・入河内大根のこそう会総会（5/23） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安芸市の観光振興に向けた推進母体の育成 ⇒安芸市観光協会の機能の見直し ・岩崎弥太郎生家に関する観光新商品開発 ⇒現状把握と有望素材の磨き上げ
<p>■No. 26 中芸地区における広域観光の推進（奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中芸広域連合 ・中芸観光協議会 ・中芸商工会 ・観光関連事業者等 	<p>[目標（H27）]</p> <p>—</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>—</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東部地域博基本計画策定検討委員会への参画（4/24、6/7） ・観光案内や地域観光キャンペーンの実施（4/26・27 イオンモール、5/3～6 田野駅屋臨時案内所） ・中芸観光協議会総会（5/30） ・土佐旅セミナー研修受講（6/13・14、6/26） ・中芸食に関する検討会の開催（6/27、7/18） ・中芸観光ガイドスキルアップ研修会の検討（8/5） ・中芸地区ファンづくり検討会（8/5）、黒笹慈幾の講演会（8/27） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民、事業者、行政が協働する観光振興の展開 ⇒中芸観光ビジョンの実現にむけた関係者の協働意識の醸成

重点的な取組	取組状況（結果、成果を含む）・課題と今後の対応
<p>■No. 27 魚梁瀬森林鉄道遺産を活用した交流人口の拡大（奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中芸地区森林鉄道遺産を保存・活用する会 <p>■No. 30 世界に2つの「モネの庭」の誘客強化による交流人口の拡大（北川村）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北川村 ・きたがわジャルダン 	<p>[目標（H27）]</p> <p>ツアー客数： 1,500人</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>ツアー客数： 1,300人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役員会の開催（4/5、5/8、6/17） ・隧道カフェの開催（4/19） ・支線調査報告会及び通常総会の開催（5/22） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林鉄道遺産の保存・管理・活用 ⇒国、県との協力体制を構築 <p>[目標（H27）]</p> <p>入園者数： 65,000人</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>入園者数： 60,000人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誘客イベントの開催（企画展「モネの花図鑑」（3～4月、4～5月）、ガーデンテニグ教室（4月）、出張ガーデンテニグ教室（イオンモール4月）、無料開放（4/19）） ・広報活動の展開（新聞折込誌ミリカの活用） ・日帰りエリアや団体への営業活動の拡充（四国全域、岡山、神戸） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入園者増に向けた誘客対策 ⇒企画・イベントのバージョンアップと情報発信の更なる強化 ・営業体制の強化 ⇒観光協会との連携やフェイスブックの活用など多様な営業活動

②上記以外で特記すべき取組

取組	取組状況（結果、成果等を含む）・課題と今後の対応
<p>■No. 7 土佐備長炭の生産・出荷・販売体制の強化（室戸市、東洋町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・室戸市木炭振興会 ・土佐備長炭生産組合 	<p>[目標（H27）]</p> <p>新規就労者： 5名 共同窯設置： 4基 生産量増産： 30t/年 新商品開発： 1商品</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>新規就労者： 3名 共同窯設置： 4基 新商品開発： 1商品</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐備長炭生産組合が共同窯整備等の産振補助金採択申請書提出（7/24 補助金審査会） ・室戸市及び東洋町の2事業体から年間活動計画を聞き取り（4月） ・新規研修生受入れ動向調査（東洋町生産組3名、～H27） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原木調達や製品の販売対策（室戸市） ⇒原木調達や協業化に向けた検討 ・新規就労に向けて受入れる研修生の独立支援 ⇒独立に必要な炭焼窯の整備経費支援策の検討
<p>■No. 16 キラメッセ室戸「楽市」の機能強化（室戸市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・室戸市 	<p>[目標（H27）]</p> <p>キラメッセ楽市来場者数： 258,000人</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>整備基本構想策定</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場拡張に係る保安林解除委託施工 室戸市予算確保(6月補正)、委託契約（工期：8/13～11/15） ・周辺住民への保安林解除の事前意向調査の実施（6月） ・「楽市」機能拡張に向けた関係者（室戸市、県、指定管理者）検討会（8/15） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場拡張を伴う加工施設の整備に向けた早期の整備基本構想の策定 ⇒駐車場拡張に係る保安林解除手続きの委託施行

取組	取組状況（結果、成果等を含む）・課題と今後の対応
<p>■No. 21 イルカのふれあい体験による交流人口の拡大（室戸市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPO 室戸ドルフィンプロジェクト ・室戸市 	<p>[目標 (H27)]</p> <p>来場者数： 25,000 人</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>来場者数： 27,000 人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設リニューアルオープンセレモニー(4/14) ・海の駅「とろむ」と施設オープン感謝祭を合同開催 (4/14) ・ドルフィンプロジェクト総会で営業方針・宣伝方法等を決定 (5/26) ・リニューアル施設の告知・PRを実施(るるぶ四国掲載、テレビ放映) ・陸上施設や体験プログラムの充実(陸上プール、受付・更衣室・シャワー室・講習室、イルカ2→4頭、体験プログラムの追加) ・リョーマの休日エリアキャンペーン登録の協議 (7/31) ・「海の駅とろむの日(10月6日)」記念イベントに向け協議 (8/13) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・更なる情報発信や施設整備による来場者増 ⇒とろむエリア全体の利活用策の検討
<p>■No. 29 安田中山地区の活性化プロジェクト（安田町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安田町 ・中山を元気にする会 ・安田川漁協 ・自然薯生産組合 ・味工房じねん ・中山合同女性部 	<p>[目標 (H27)]</p> <p>—</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>—</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集落活動センター「なかやま」の開設 (4月) ・中山を元気にする会運営会開催 (4/23、5/14、6/4、総会6/5) ・高知大学・安田町連携事業協議会 (6/5) ・旧中山小学校(集落活動センター)の耐震診断着手 (6月) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集落活動センターの円滑な運営と外部人材の活用 ⇒地域おこし協力隊員による運営支援の継続 ⇒地域おこし協力隊員の活動を通じた地域住民の参加意識の醸成

2 平成 25 年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況（交付決定又は採択事業）

単位：千円

取組	事業概要	総事業費(補助金額)
■No.7 土佐備長炭の生産・出荷・販売体制の強化 (東洋町)	・共同利用窯4基と運搬機材（フォークリフト）を整備し、生産・出荷体制を強化する。また、組合員の視察研修により新商品の開発や品質管理の向上を図るとともに、備長炭や産地を紹介したパンフレットを作成し、商品PRを行う。	18,237(12,148)

3 地域アクションプランの追加、修正、削除（予定）項目

[追加] [削除] なし

[修正]

■N02 ユズを中心とした中山間振興（室戸市、安芸市、安田町、北川村、馬路村）

（理由）農家の収入と連動させるため、目標値と指標の見直しを行う。

■N020 世界ジオパーク認定を活かした観光の振興（室戸市）

（理由）整備を計画するジオサイトを明確化し、具体的な整備に着手するため。

4 県民参画に向けた取組

○第2期産業振興計画の周知

- ・室戸市議会全員協議会の講演
- ・地域アクションプラン事業主体の企業等訪問（室戸市、安芸市、奈半利町、田野町、安田町）

○土佐の産業おこし参加プラン募集の案内

- ・室戸市議会での説明

○産業振興計画シンポジウムへの参加案内

- ・地域アクションプラン事業者への案内（四国部品、大野倶楽部、安芸水産、JA土佐あき等）
- ・地域団体への案内（JA土佐あき、JA馬路、安芸商工会議所、中芸地区商工会等）

○土佐ビジネスアカデミーの受講への働きかけ

- ・地域アクションプラン事業者へ案内（安芸水産、一般社団法人 うみ路 他）

5 相談案件：5件

NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	4/16	商工	安芸地域の食材等を室戸市の宿泊施設や他の地域へ提供したい。
2	5/10	食品加工	田野町で生産する天日塩を利用した商品を開発・販売したい。
3	5/29	観光	岩崎弥太郎生家を活用した新規事業を創出したい。
4	6/24	水産	安芸市内でシラス加工品を使った飲食を提供する食堂を開きたい。
5	7/3	水産	深層水利用の養殖水産物（ナガレコ、アワビ）を加工商品にして販売したい。

修正項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	第1期計画(H21~23)の取組の総括等		主な内容
			総括	課題	
2 ユズを中心とした中山間振興 《室戸市、安芸市、安田町、北川村、馬路村》	日本一のユズ産地として、生産性の向上や品質の低下の防止とともに、ユズ果汁等の販路拡大に取り組み、ユズ販売額の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・JA土佐あき ・JA馬路村 ・JA土佐あき ・JA馬路村 ・JA土佐あき ・JA馬路村 	<ul style="list-style-type: none"> ・新植、改植の推進への取組(H21~23) ◆県選抜システムを活用した母樹園が設置された。(安芸:東川・畑山、北川) ・将来にわたってユズ園を管理する仕組みづくりへの取組(H21~23) ◆集落営農組織及び農作業受委託組織を3組織育成できた。 (JA土佐あき) ・加工施設等の導入(H21.10) ◆JA土佐あき北川支所の搾汁施設の高度化が行われ、H21は過去にない豊作で販売に苦慮したが販路開拓により飲料企業との取引が拡大している。 (JA馬路村) ・ユズ茶加工施設導入(H21) ◆JA馬路村がゆず茶の加工施設を導入し、販売実績が徐々に増加している。 	<ul style="list-style-type: none"> 青果出荷へのシフト ・隔年結果及び品質低下対策 ・母樹園を活用した優良系統の普及 新たな仕組みづくり ・ユズ銀行に代わる新たな労働補完体制の検討(北川村) ・(株)ユズ組合による作業請負等の継続及び新たな仕組みの検討(馬路村) (JA土佐あき) ・H21大豊作による果汁販売の苦戦、生産者単価の低下 (JA馬路村) ・H21大豊作による果汁販売の苦戦 ・加工施設の活用による安定した加工品販売及び生産者単価の維持向上 	<ul style="list-style-type: none"> ◆新植、改植の推進 ◆将来にわたってユズ園を維持管理する仕組みづくり ◆ユズ果汁等の安定供給と積極的な販路開拓



項目	事業の概要	事業主体	第1期計画(H21~23)の取組の総括等		主な内容
			総括	課題	
2 ユズを中心とした中山間振興 《室戸市、安芸市、安田町、北川村、馬路村》	日本一のユズ産地として、生産性の向上や品質の低下の防止とともに、ユズ果汁等の販路拡大に取り組み、ユズ販売額の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・JA土佐あき ・JA馬路村 ・JA土佐あき ・JA馬路村 	<ul style="list-style-type: none"> ・新植、改植の推進への取組(H21~23) ◆県選抜システムを活用した母樹園が設置された。(安芸:東川・畑山、北川) ・将来にわたってユズ園を管理する仕組みづくりへの取組(H21~23) ◆集落営農組織及び農作業受委託組織を3組織育成できた。 (JA土佐あき) ・加工施設等の導入(H21.10) ◆JA土佐あき北川支所の搾汁施設の高度化が行われ、H21は過去にない豊作で販売に苦慮したが販路開拓により飲料企業との取引が拡大している。 (JA馬路村) ・ユズ茶加工施設導入(H21) ◆JA馬路村がゆず茶の加工施設を導入し、販売実績が徐々に増加している。 	<ul style="list-style-type: none"> 青果出荷へのシフト ・隔年結果及び品質低下対策 ・母樹園を活用した優良系統の普及 新たな仕組みづくり ・ユズ銀行に代わる新たな労働補完体制の検討(北川村) ・(株)ユズ組合による作業請負等の継続及び新たな仕組みの検討(馬路村) (JA土佐あき) ・H21大豊作による果汁販売の苦戦、生産者単価の低下 (JA馬路村) ・H21大豊作による果汁販売の苦戦 ・加工施設の活用による安定した加工品販売及び生産者単価の維持向上 	<ul style="list-style-type: none"> ◆新植、改植の推進 ◆将来にわたってユズ園を維持管理する仕組みづくり ◆ユズ果汁等の安定供給と積極的な販路開拓

第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値 (H27)
<p>新植、改植の推進 青果の生産拡大と品質向上、計画的販売の強化</p> <p>検討会や勉強会の開催による基本技術の徹底</p> <p>適正栽培管理の指導 母樹園管理規定等の仕組みづくり</p> <p>母樹を活用した苗木確保と計画的な改植・新植の推進</p>					青果出荷受入量 (H22:297t) (H23:370t)	400t
<p>将来にわたってユズ園を維持管理する仕組みづくり 新たな組織の検討(北川村、馬路村)</p> <p>農作業受託組織、作業班体制等による作業請負の仕組み作りに向けた検討(組織等の設立)</p> <p>組織等の育成及び円滑な運営支援</p>					作業受託等の新たな組織作り	北川村1組織 馬路村1組織
<p>ユズ果汁等の安定供給と積極的な販路開拓</p> <p>(JA土佐あき)栽培基本技術向上による加工用A品果皮の出荷拡大 大手飲料メーカー等との契約による販売の安定化 加工ニーズに対応した果汁殺菌施設の導入と施設を活かした販路開拓 高知県食品衛生管理認証制度への取組 果汁一元化販売に向けた体制整備 ユズ協業等との連携、海外事務所、輸出コーディネーター等の活用による輸出版売の拡大。(シンガポール、北米、EU等)</p> <p>(JA馬路村) 各施設を活用した加工品生産、加工品開発及び販売拡大への取組</p>					加工仕向量 (H22:4,250t)	4,670t (10%アップ)
					加工用果皮のA品受入量 安芸(H23:501t (20.1%)) 北川(H23: 83t (6.3%)) ※()内はA品率	安芸600t 北川150t
					JA馬路村 加工品販売額 ユズ茶 (H21:0.8億円) 化粧品 (H21:1,700万円) ボン酢他ユズ加工品 (H21:20億円)	1.6億円 5,200万円 20.7億円



第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値 (H27)
<p>新植、改植の推進 青果の生産拡大と品質向上、計画的販売の強化</p> <p>検討会や勉強会の開催による基本技術の徹底</p> <p>適正栽培管理の指導 母樹園管理規定等の仕組みづくり</p> <p>母樹を活用した苗木確保と計画的な改植・新植の推進</p>					青果出荷受入量 (H22:297t) (H23:370t)	400t
<p>将来にわたってユズ園を維持管理する仕組みづくり 新たな組織の検討(北川村、馬路村)</p> <p>農作業受託組織、作業班体制等による作業請負の仕組み作りに向けた検討(組織等の設立)</p> <p>組織等の育成及び円滑な運営支援</p>					作業受託等の新たな組織作り	北川村1組織 馬路村1組織
<p>ユズ果汁等の安定供給と積極的な販路開拓</p> <p>(JA土佐あき)栽培基本技術向上による加工用果皮の出荷拡大 大手飲料メーカー等との契約による販売の安定化 加工ニーズに対応した果汁殺菌施設の導入と施設を活かした販路開拓 高知県食品衛生管理認証制度への取組 果汁一元化販売に向けた体制整備 ユズ協業等との連携、海外事務所、輸出コーディネーター等の活用による輸出版売の拡大。(シンガポール、北米、EU等)</p> <p>(JA馬路村) 各施設を活用した加工品生産、加工品開発及び販売拡大への取組</p>					加工仕向量 (H22:4,250t)	4,670t (10%アップ)
					加工用果皮の出来高 安芸:A品・B品 (H23:631t) 北川:A品・B品 (H23:31t)	安芸 1,000t 北川 80t
					JA馬路村 加工品販売額 ユズ茶 (H21:0.8億円) 化粧品 (H21:1,700万円) ボン酢他ユズ加工品 (H21:20億円)	1.6億円 5,200万円 20.7億円

修正項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	第1期計画(H21~23)の取組の総括等		主な内容
			総括	課題	
20 世界ジオパーク認証を活かした観光の振興 《室戸市》	世界ジオパークに認証された室戸ジオサイトにおける受入体制の整備や商品開発に取り組み交流人口の拡大を図っていく。	・室戸市 ・室戸ジオパーク推進協議会 ・室戸市観光協会	・看板や遊歩道、駐車場などの環境整備(H21~23) ・ガイドやジオパークマスターの養成研修(H21~23) ◆H23.9.18に世界認証を受ける。	・受入れ体制の強化	◆ガイド育成 ◆ジオツアーの開発 ◆情報発信、国際交流 ◆商品開発 ◆拠点施設整備 ◆サイト整備



【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	第1期計画(H21~23)の取組の総括等		主な内容
			総括	課題	
20 世界ジオパーク認証を活かした観光の振興 《室戸市》	世界ジオパークに認証された室戸ジオサイトにおける受入体制の整備や商品開発に取り組み交流人口の拡大を図っていく。	・室戸市 ・室戸ジオパーク推進協議会 ・室戸市観光協会	・看板や遊歩道、駐車場などの環境整備(H21~23) ・ガイドやジオパークマスターの養成研修(H21~23) ◆H23.9.18に世界認証を受ける。	・受入れ体制の強化	◆ガイド育成 ◆ジオツアーの開発 ◆情報発信、国際交流 ◆商品開発 ◆拠点施設整備 ◆サイト整備

修正後

第2期計画					H28以降	指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	指標		目標値(H27)	
ガイド育成					→	ジオパークガイド登録者数 (H22:20人)	40人
ガイド研修(登録ガイド数の増加・外国語対応ガイドの育成・周遊ガイドの育成)							
深層水・佐善浜・段の谷・加奈木のつえサイト等のガイド育成							
ジオツアーの開発					→	ジオパーク関係施設来訪者 (H22:53,473人) ※ドルフィンセンターを含む	70,000人
ジオパーク周遊バス実証実験	【実証実験の結果により】周遊バスの運行						
既存体験プログラム(炭焼体験・農業体験等)のブラッシュアップ							
コーディネート組織の検討							
情報発信、国際交流					→		
ジオパーク全国大会開催				世界ジオパーク再審査			
・全国大会・国際会議でのPR・室戸岬こどもサマースクール等イベントの開催							
商品開発					→		
ニーズ調査	商品開発(アドバイザー活用)						
拠点施設整備					→		
基本構想・基本設計	実施設計		拠点施設の整備				
サイト整備							
ビジターセンター・インフォメーションセンター機能強化					→		
深層水サイトアクアファームの展示充実	登層サイト等の整備						
吉良川町並みサイト	崎山サイト・西山サイト等の周遊コース整備						
羽根サイト歩道整備							



第2期計画					H28以降	指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	指標		目標値(H27)	
ガイド育成					→	ジオパークガイド登録者数 (H22:20人)	40人
ガイド研修(登録ガイド数の増加・外国語対応ガイドの育成・周遊ガイドの育成)							
深層水・佐善浜・段の谷・加奈木のつえサイト等のガイド育成							
ジオツアーの開発					→	ジオパーク関係施設来訪者 (H22:53,473人) ※ドルフィンセンターを含む	70,000人
ジオパーク周遊バス実証実験	【実証実験の結果により】周遊バスの運行						
既存体験プログラム(炭焼体験・農業体験等)のブラッシュアップ							
コーディネート組織の検討							
情報発信、国際交流					→		
ジオパーク全国大会開催				世界ジオパーク再審査			
・全国大会・国際会議でのPR・室戸岬こどもサマースクール等イベントの開催							
商品開発					→		
ニーズ調査	商品開発(アドバイザー活用)						
拠点施設整備					→		
基本構想・基本設計	実施設計		拠点施設の整備				
サイト整備							
ビジターセンター・インフォメーションセンター機能強化					→		
深層水サイトアクアファームの展示充実	段の谷・とらむらサイト等の整備						
吉良川町並みサイト	崎山サイト・西山サイト等の周遊コース整備						
羽根サイト歩道整備							